

開催報告書

- ◆日時：令和2年10月22日(木)～23日(金)
- ◆開催方法：オンライン(Zoomウェビナー)
- 学研都市3大学研究交流会は、会議場にて聴講可(先着100名まで)

プログラム

10月22日(木)	11:00～11:10	開会挨拶
	<基調講演> 11:10～13:50	
	11:10～12:00	ポストコロナの情報社会ーデジタル化による社会と考え方の変容 中央大学 名誉教授 大橋 正和 氏
	13:00～13:50	ポストコロナのニューノーマル 日本はチャンスに変えられるか？ Innovation Finders Capital Founder 江藤 哲郎 氏
	<学研都市3大学研究交流会>『私たちの未来社会に貢献するAI技術』 14:00～17:20	
	14:00～14:50	早稲田大学 DXへの取組事例から見える企業戦略とAI展望
10月23日(金)	15:10～16:00	九州工業大学 AIシステムの脳型ハードウェア化の必要性和ロボット応用
	16:20～17:10	北九州市立大学 AI教育にみられる子どもたちと地域企業の挑戦
	17:10～17:20	講 評 (公財)北九州産業学術推進機構 理事長 松永 守央
	<身近なデジタル化の取組事例紹介> 10:00～11:50	
	10:00～10:30	5Gデジタル技術を活用した社会変革への取り組み 株式会社NTTドコモ 九州支社 法人営業部 担当課長 植松 大輔 氏 株式会社ドコモCS九州 北九州支店 法人営業部 担当 小山 潤也 氏
	10:40～11:10	今から始めるDX、中小企業における効果と課題 株式会社ハピクロ 常務取締役 中田 佳孝 氏
	11:20～11:50	北九州テレワークサポートセンターにおける支援事例について リンクソフトウェア株式会社 代表取締役 矢野 宏之 氏
	<先輩起業家が語る!『起業への挑戦が未来を創る』> 13:00～14:40	
	13:00～13:45	ビジネスに重要な「掛け算の視点」 株式会社Fusic 取締役副社長 浜崎 陽一郎 氏
	13:55～14:40	キャリアとしての起業～就職と起業の境目が無い時代～ 株式会社クアンド 代表取締役 下岡 純一郎 氏
	<生産性向上スクール～IoT・ロボット等による生産性向上の進め方～> 15:00～17:00	
	15:00～15:45	第4次産業革命を活用した中小企業の飛躍とは?～第4次産業革命の本質と機会・脅威～ 株式会社野村総合研究所 上級コンサルタント 梶野 真弘 氏
	15:55～16:35	中小製造業における生産性向上の進め方 ものづくりテラス 代表 林 芳樹 氏
	16:45～17:00	北九州市における中小ものづくり企業の成長支援 北九州市産業経済局 産業イノベーション推進室 ロボット産業担当係長 大庭 繁樹 氏
	17:00～17:10	閉会挨拶

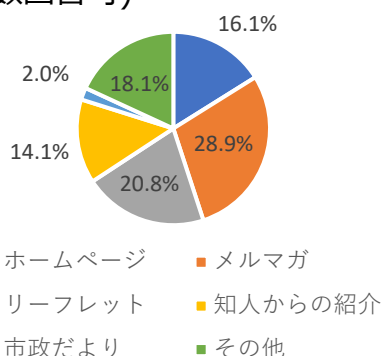
参加者数

開催日	セミナータイトル		申込者数	当日視聴者 来場者数	アーカイブ動画 視聴者数
10/22	開会挨拶・基調講演①②		248	157	68
	早稲田大学研究交流会	(オンライン)	162	84	85
		(会議場)	82	76	
	九州工業大学研究交流会	(オンライン)	158	76	41
		(会議場)	84	74	
	北九州市立大学研究交流会	(オンライン)	161	72	58
(会議場)		74	60		
10/23	身近なデジタル化の取組事例紹介		249	135	63
	先輩起業家が語る！「企業への挑戦が未来を創る」		212	104	46
	生産性向上スクール～IoT・ロボット等による生産性向上の進め方～		206	104	83
	合 計		1,636	942	444

アンケート集計結果＜各プログラム共通＞

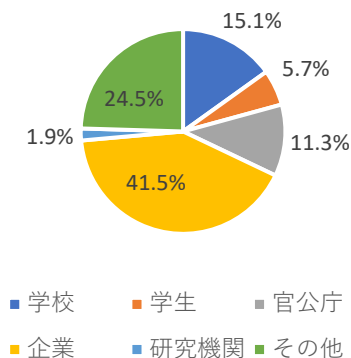
Q1：今回のフォーラムを何で知りましたか。(複数回答可)

ホームページ	24
メルマガ	43
リーフレット	31
知人からの紹介	21
市政だより	3
その他	27
合 計	149



Q2：あなたのご職業は何ですか。

学校	16
学生	6
官公庁	12
企業	44
研究機関	2
その他	26
合 計	106



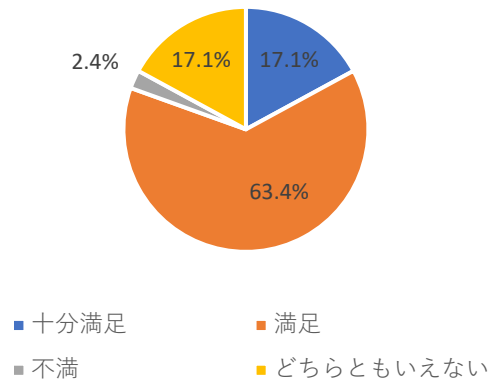
Q3：今回のフォーラムや学研都市に対するご意見等、ご自由にご記入ください。

- ・会場に足を運ぶ時間やコロナ対策を考慮すると、今回のWEBセミナーは良い方策であると思います。また、仕事の都合で見逃したものもありましたが、アーカイブ視聴を利用でき、非常にありがたく感じました。今後も同様な運営をお願いできればと思います。
- ・各講演のそれぞれから、今後自身の業務に応用できそうなアイデアを頂けたと感じています。
- ・地方創生の先駆的な都市として、Society5.0の実現に期待します。
- ・WEBセミナーの取組みを継続していただきたい。
- ・日本有数の工業都市、モノづくりの都市であるがゆえに、特にIoTの「T」の部分に関しては、特にいつもたいへん参考にさせていただいております。

アンケート集計結果＜基調講演＞

Q1：当セミナーの感想をお聞かせください。

十分満足	7
満足	26
不満	1
どちらともいえない	7
合 計	41



Q2：Q1のように回答された理由をお聞かせください。

- ・最先端のIT情報を知ることができた。又,With CORONAへのアイデアを頂いた。
- ・パンデミックによる各国企業の対応や変化、現状・今後の動向について、歴史的な観点や実際の具体的な事例を示して頂いたことは、業務に必要なアイデア創出のヒントとなるだけでなく、知的好奇心も刺激されるような内容であり、大変勉強になった。
- ・シアトルにおけるスタートアップ隆盛の雰囲気を感じることができた。
- ・海外～日本の最近のAI動向、DXについて、概要把握に役立った。
- ・大橋講師のInclusionの指摘は参考になったが、もう少し詳しい内容がききたかった。江藤講師のシアトルで現在進行中のVentureのMeet Upの紹介は大変刺激的だった。
- ・コロナ禍中や後にしても、ITがこの世界に浸透しているかを理解でき、将来のITの生かし方というものを考えさせられた。
- ・講演の内容はとても分かりやすかったけれども質問の時間があまりなかったので十分満足とは言えなかった。
- ・デジタル化に関する世界の状況を知ることができ有益であったが、幅広い分野の概略を説明するのであれば、もう少し体系だって説明していただけると良かったと思う。

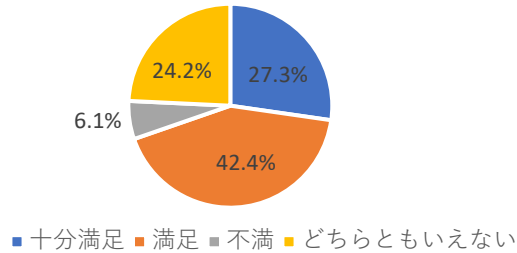
Q3：今後、聴講したい講演テーマや講演者のご希望はありますか。

- ・今後の情報社会の動向について。
- ・5G、6Gになったときの世の中の変化並びに中国のIT、AI技術の本当の実力を、第一線の専門家から聞いてみたい。
- ・①FIT終了後のエネルギー政策と資源としてのエネルギー価格の将来的展望
②スーパー台風が本当に直撃した場合の避難、再建の有り方
- ・AIやRPAの話は勿論のこと、環境やロボットのテーマも希望。
- ・SDGsを実現するソーシャル・アントレプレナーシップ
- ・工業、製造分野において今後、重宝される業種や技術、必要とされる設備や技術・技能

アンケート集計結果＜学研都市3大学研究交流会＞

Q1：早稲田大学研究交流会の感想をお聞かせください。

十分満足	9
満足	14
不満	2
どちらともいえない	8
合 計	33

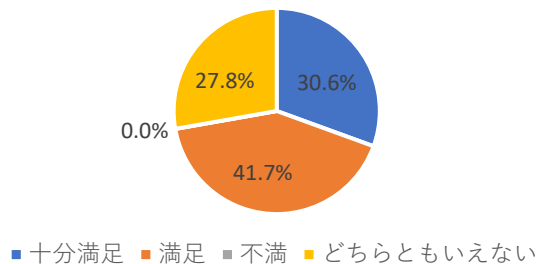


Q2：Q1のように回答された理由をお聞かせください。

- ・DXに関する縦軸と横軸の考え方や項目が非常に参考になったため。
- ・研究者と経営者の両者の観点から、現状をITを駆使して乗り越え、進んでいくためのプロセスを取り上げていたから。
- ・DX戦略＝経営×工学、の考え方が参考になった。NASAの次世代宇宙服のAI設計＝タコ入道形状が印象に残った。
- ・製造業におけるDX戦略の話が勉強になった。また、講演内であったDX戦略のマトリクス図は自身の今後の業務の参考にしたい。
- ・パネルディスカッションでの工夫はよかったが、事前の資料配布がほしかった

Q3：九州工業大学研究交流会の感想をお聞かせください。

十分満足	11
満足	15
不満	0
どちらともいえない	10
合 計	36

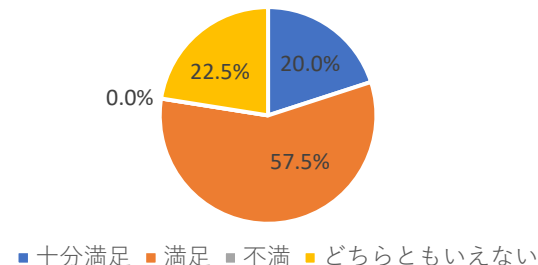


Q4：Q3のように回答された理由をお聞かせください。

- ・九工大の新しいチャレンジングな取組を知ることができた。
- ・最近の動向や専門的な先行事例が多く紹介されたから。
- ・ニューロモルフィックAIハードウェア研究センターの取り組みが理解できた。
- ・高度な技術内容で短時間での理解にはハードルが高かった。
- ・脳型処理ハードの研究開発、海外連携、期待しています。

Q5：北九州市立大学研究交流会の感想をお聞かせください。

十分満足	8
満足	23
不満	0
どちらともいえない	9
合 計	40



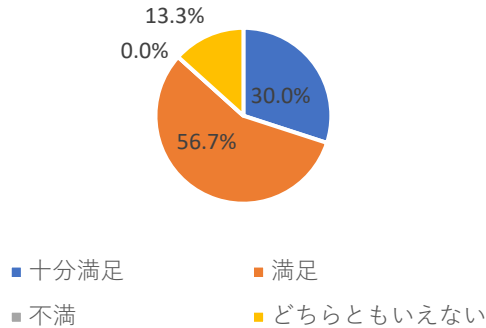
Q6：Q5のように回答された理由をお聞かせください。

- ・AIやIoTを利用した教育についてよく理解ができた。また、インターンシップ制度を変更するなど、大学の取組についても理解が深まった。
- ・グルーヴノーツさんのAI教育という遠いもののように感じていたものを身近に感じることができ、子育て中の自分としては興味深かった。
- ・非常に興味深く勉強になりました。もう少し時間が長くてもよかった。
- ・話の内容が、他の2つと、かけはなれた感じがし、頭の整理がしにくかった。
- ・北九州でビジネスを行う上で、必要となる情報を発信していただいただけ参考になった。

アンケート集計結果＜身近なデジタル化の取組事例紹介＞

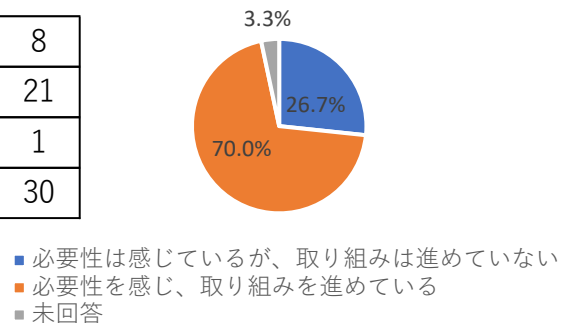
Q1：当セミナーの感想をお聞かせください。

十分満足	9
満足	17
不満	0
どちらともいえない	4
合 計	30



Q2：日頃の業務の中で、デジタル化の必要性を感じ、デジタル化の取り組みを進めていますか。

必要性は感じているが、取り組みは進めていない	8
必要性を感じ、取り組みを進めている	21
未回答	1
合 計	30



Q3：Q2で「必要性を感じ、取り組みを進めている」とご回答いただいた方にお尋ねします。
具体的にどのような取り組みを進めているのかお聞かせください。

- ・システムでの生産管理
- ・ペーパーレス化、テレワーク活用、サービスのリモート化
- ・SlackやTeamsを使用したオンライン会議
- ・文書のクラウドでの管理
- ・RPAによる業務の効率化
- ・ICT関連の部署を設立し、事務業務・施工業務に適したツールの導入検討
- ・作業負荷の軽減、物理現象の定量把握などにセンサーなどを適用検討している

Q4：Q2で「必要性は感じているが、取り組みは進めていない」「必要性を感じていない」とご回答いただいた方にお尋ねします。進めるにあたっての課題があればお聞かせください。

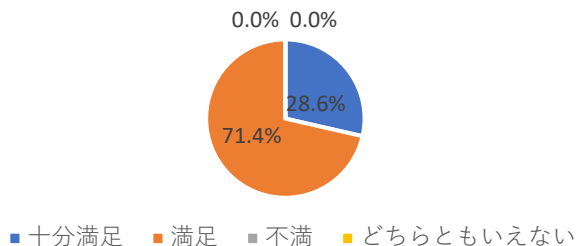
- ・経費がかかる
- ・ソフトウェアが高価
- ・業務の可視化、標準化が難しい

アンケート集計結果

<先輩起業家が語る！「起業への挑戦が未来を創る」>

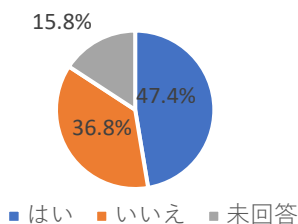
Q1：当セミナーの感想をお聞かせください。

十分満足	6
満足	15
不満	0
どちらともいえない	0
合 計	21



Q2：北九州市のスタートアップ支援策について興味がありますか。

はい	9
いいえ	7
未回答	3
合 計	19

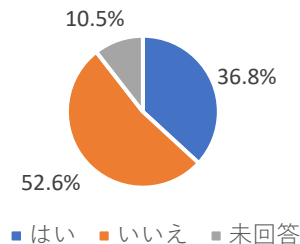


Q3：Q2で「はい」とご回答いただいた方にお尋ねします。具体的にどのような支援策を希望しますか。

- ・スタートアップと企業をつなぐネットワーク
- ・ベンチャー育成と補助施策
- ・SDGsに実現に向けた社会課題を解決するスタートアップで、成功確率を向上させるための重要事項・留意事項や行動原則、価値創造アプローチなどについての情報提供
- ・成長促進のための支援策（起業後3年からの支援策の充実）
- ・アイデアを販売できる支援か、マッチングできるアイデア活用支援、特許活用支援

Q4：北九州市がスタートアップ向けに実証フィールドを提供する場合、興味がありますか。

はい	7
いいえ	10
未回答	2
合 計	19



Q5：Q4で「はい」とご回答いただいた方にお尋ねします。具体的にどのような実証をやってみたいですか。

※分野、提供してほしい実証フィールド等

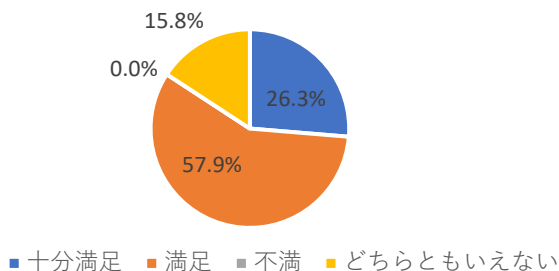
- ・シニア世代のスタートアップ

アンケート集計結果

<生産性向上スクール～IoT・ロボット等による生産性向上の進め方>

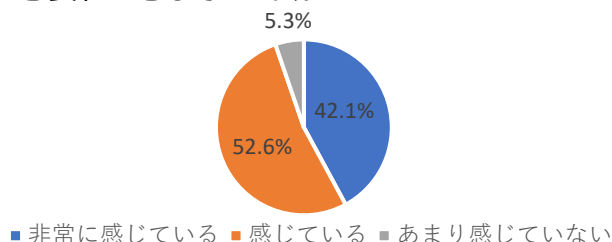
Q1：当セミナーの感想をお聞かせください。

十分満足	5
満足	11
不満	0
どちらともいえない	3
合 計	19



Q2：日頃の業務の中で、生産性向上の必要性を感じていますか。

非常に感じている	8
感じている	10
あまり感じていない	1
合 計	19

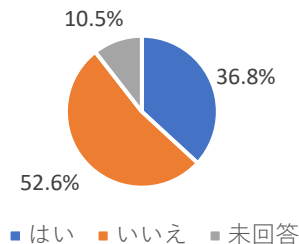


Q3：Q2で「非常に感じている」「感じている」とお答えいただいた方にお尋ねします。具体的にどのような必要性を感じていますか。

- ・テレワークでの、業務効率化と質の向上
- ・ペーパーレス化
- ・要員削減、作業の効率化
- ・熟練作業者の「カン・コツ」の形式知化
- ・オートメーション化を図り、省力化・効率化

Q4：(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)による生産性向上支援に興味がありますか。

はい	7
いいえ	10
未回答	2
合 計	19



Q5：Q4で「はい」とご回答いただいた方にお尋ねします。具体的にどのような支援を希望しますか。

- ・工程管理等の業務の効率化 など